



ここがすごい! 四日市市の教育!

本市では、学校が子どもたちにとって安全に安心して過ごせる居心地の良い場所になるよう、誰一人取り残すことのない教育環境の構築に努めています。また、一人ひとりに最適な学びと協働的な学びの実現へ向けた取り組みを通して、生きる力、共に生きる力の育成を目指しています。すべての子どもの可能性を引き出すための、教育委員会の取り組みをご紹介します。



夢と志を持ち、未来を創るよっかいちの子ども

「未来を創るよっかいちの子ども」の今を大切に

今の子どもたちは、変革の時代を生きています。さまざまな社会課題を乗り越えて、自らの人生を切り開くことができる、その基礎となる力を培っていくことが、我々教育に携わる者の責務だと思っています。

しかし、未来を担う子どもたちが持つ可能性を引き出すためには、教育委員会や学校の取り組みだけでなく、家庭・地域の皆様のご理解とご協力が不可欠であると考えます。

「チーム教育委員会」・「チーム四日市」として、「夢と志を持ち、未来を創るよっかいちの子ども」を育むために、よりよい教育環境づくりを進めていきたいと思います。

四日市市教育長 廣瀬琢也



学びを支える、チーム教育委員会

小・中学校



教育委員会

教育委員会は、政治的に中立で安定した教育を続けるため、市長から独立した組織となっています。教育の方針や施策は、教育委員会の会議で決定します。

四日市市教育委員会は教育長と4人の教育委員で構成されており、教育長は、教育委員会を代表します。教育の事務を行うために、教育委員会には、事務局が置かれています。



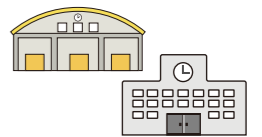
教育総務課

奨学金の支給や私立学校への助成、統計調査に基づく学校規模の検討や、教育委員会会議の企画調整など



教育施設課

市内にある37の小学校、22の中学校の施設整備と維持管理など



学校教育課

小・中学校の転入学手続きや、就学援助、小・中学校給食、災害共済給付などの学校に関する手続きや教職員の人事など



学校給食センター

中学校給食の調理・配送や、食育・地産地消の推進



指導課

教職員への学習指導に係る指導・助言や、教科書など教材の取り扱い、生徒指導に係る指導・助言、いじめなどへの対応・外部機関との連絡協議など



教育支援課

教職員の資質向上のための研修の企画・運営や、小・中学校のICT環境整備と活用促進、特別支援教育の推進と人員の配置、発達や行動などに課題のある子どもや、その保護者に対する教育相談など



登校サポートセンター

小・中学校の不登校に関わる相談や調査、不登校の子どもを支援する「ふれあい」などの運営、ふれあいフレンド（学生ボランティア）など



人権・同和教育課

小・中学校で人権教育を推進するための研修の実施や、人権教育に関する学習教材・資料などの研究、啓発活動など



図書館

子どもたちの学びを支えるために、学習支援図書や貸し出しや、電子図書館の利用に係る学校連携など



博物館

ふるさと四日市について、愛着を持ち、自分事として学べる学習支援展示や、プラネタリウムを活用した学習投映、移動天文車「きらら号」による本物の星を見る機会の提供など





四日市市新教育プログラム



就学前から小・中学校の期間に、目指すべき子どもたちの姿を、テーマ別に整理し、6つのプログラムとして系統的に組み立てた本市独自の教育プログラムを策定して、取り組んでいます。

1 読む・話す・伝えるプログラム

文章を正確に理解し、適切に表現する力を育みます。

自分の考えや思いを工夫して表現したり、他の人の述べ方に着目して聞いたりするなど、文章を正確に理解し、適切に表現する力を育む機会として、発達段階に合わせたスピーチ活動や中学生スピーチコンテスト「THE BENRON」などの取り組みをしています。



読書活動



中学生スピーチコンテスト

2 論理的な思考で道筋くっきりプログラム

筋道を立てて説明できる論理的思考力を育みます。

自分たちの考えや意見を創出したり、整理したり、まとめたりするための道具としての「思考ツール」や「表現モデル」を用いて、論理的に考えたり、表現したりする力を育んだり、独自の指導内容をまとめたカリキュラムに沿って、小学校のプログラミング教育を行ったりしています。



中学生によるプレゼンテーション



プログラミング教育

3 英語でコミュニケーション IN 四日市!プログラム

発達段階に応じた英語コミュニケーション能力を育みます。

小学校では「英語キャンプ」、中学校では「LET'S ENJOY ENGLISH」などの授業内外でネイティブスピーカーの英語に触れる機会を設けています。また、あすなろう鉄道・三岐鉄道の路線やその周りの施設を、児童が英語で紹介する取り組みをしています。



英語キャンプ



LET'S ENJOY ENGLISH

4 運動大好き!走・跳・投 UP プログラム

運動する機会を増やし、運動に親しむ能力を育みます。

子どもたち誰もが取り組みやすく、運動を楽しみながら体力・運動能力の向上を図るために、ボール運動や機械運動などの、子どもの発達段階に応じた、シンプルでバリエーション豊かな「新5分間運動」を行っています。



ボール運動



マット運動

5 夢と志!よっかいち輝く自分づくりプログラム

自らキャリアを形成していこうとする能力を育みます。

子どもたちが自分らしい生き方を実現し学び続けるために、人権教育や道徳教育を通して自分を見つめ、社会見学や職場体験学習など他者と関わりながら学ぶ体験的な活動を通して職業観を広げるとともに、自分の学びを記録する「キャリア・パスポート」を活用しています。



職場体験学習



子ども人権フォーラム

6 四日市ならではの地域資源活用プログラム

地域に愛着を持ち、持続可能な社会を創ろうとする子どもを育みます。

四日市ならではの産業・文化・歴史などを学習するために、副読本「のびゆく四日市」を活用した授業、地域の自然や「そらんぼ四日市」「久留倍官衙遺跡公園」などの地域の文化財を活用した学習、地元企業と連携した学習をしています。



そらんぼ四日市見学



久留倍官衙遺跡公園見学



のびゆく四日市

四日市市 GIGA スクール構想

本市では、GIGA スクール構想を通して、学びのスタイルを変えていきます。GIGA スクール構想とは、文部科学省の構想で、子ども1人1台のタブレット端末と高速大容量通信ネットワークを整備し、これまでの学校教育と組み合わせ、誰一人取り残すことなく、その能力を最大限に引き出そうとするものです。

オンラインを活用した学校や家庭・地域とのつながり(イメージ)



ICT を活用して学びのスタイルを変える

1

タブレット端末を学びの文房具に

調べる、まとめる、発表する、文書を受け取る・提出するなど、文房具の一つとして使いこなしながら学習し、学びを深めます。

2

ICTと紙のハイブリッドで、わかりやすい授業を

教科書やノート、プリントに加えて、プロジェクターや各端末を活用して、写真や動画、意見を交わすことで、より効果的でわかりやすい授業を進めます。

3

学校と家庭との連続的な学びで学習習慣を定着

タブレット端末を教科書などと同様に家庭へ持ち帰り、予習・復習に活用するとともに、AIドリルを活用して、一人ひとりに応じた家庭学習を進め、学習習慣の定着を図ります。

四日市市の公立学校における働き方改革

学校の働き方改革の目的は、教職員の健康を守りつつ、教育活動のさらなる充実を図ることにあります。すべての教職員が、質の高い教育を提供するためには、多忙な学校業務を見直し、授業改善や、自己研さんなどに充てる時間を確保することが必要です。効果的な教育活動のために、教職員が学び続けることのできる環境を整備し、子どもと先生の笑顔あふれる学校づくりを目指します。

先生達の現状は…

あなたは自身の業務にやりがいを感じていますか？



平均学校滞在時間



時間外勤務の上限年間360時間を超えている者

小学校 50%
中学校 65%

「力を入れたい」「もっと時間をかけたい」と思っている業務

1位 授業準備
2位 児童生徒への生活指導

『令和4年度 教職員の働き方改革に関するアンケート結果』より

先生達が笑顔で元気に働くために…

取り組み1 仕事の積極的な効率化

- 給食費公会計化や文書の押印廃止などの業務の効率化
- 小学校高学年一部教科担任制の実施や学校行事の見直し
- 部活動の数や活動内容の精選 など

取り組み2 学校業務のデジタル化

- 会議や研修のオンライン化
- 教材や学校日誌のデジタル化
- アプリを用いた学校からの情報配信や、保護者からの欠席連絡の受信 など

取り組み3 外部人材や専門スタッフなどの活用

- 部活動指導員や学校業務アシスタントなど外部人材の配置
- スクールロイヤーやスクールカウンセラーなど、「チーム学校」としての児童生徒や家庭への支援体制
- 登下校の見守りなどの、地域との連携 など



部活動指導員

取り組み4 時間を意識した働き方の徹底

- 活動時間の上限と休養日の設定による部活動の適切な運営
- 定時退校日の設定などの、勤務時間管理の徹底
- 学校や教員が担う業務の明確化と適正化 など

よりよい教育環境を

紹介した取り組みだけでなく、各校や教職員個人での業務削減の工夫により、時間外勤務は少しずつ減少しています。しかし、睡眠や休養時間を十分取ることができていない長時間勤務の教職員はまだ多くいます。この状況を改善し、子どもの前に立つ先生たちが毎日笑顔で、夢と志をもって働くことができるよう、そして、子どもたちの良い手本となるよう、今後も取り組みを推進していきます。

学校教育課 坂口早苗



●この特集についてのお問い合わせ・ご意見は 教育総務課 ☎354-8237 FAX354-8308